

平成29年7月28日
東部農林振興センター 松江農業普及部

標題 松江管内で14番目の農事組合法人「林本郷」が誕生

(ダイジェスト)

平成29年7月16日、松江市で14番目の集落営農法人となる農事組合法人 林本郷の設立総会が開催されました。

松江市玉湯町で3つ目の集落営農法人で先に設立された2つの法人と谷を隔てて隣接しており、互いの持ち味を生かした地域貢献が期待されています。

7月16日、農事組合法人（松浦久年代表理事、49名）の設立総会が、玉湯町林本郷公民館で組合員36名、関係機関からの来賓の出席のもと開催されました。

松江市玉湯町本谷では、H3年の圃場整備により16haの水田整備と同時に転作組合を立上げ、集団転作として大豆、そばを取り入れ、経営は任意組織である林本郷営農組合として今日まで取り組んできました。

しかし、農家の高齢化や米単価の低下により耕作放棄地の増加が懸念され、種々検討の結果、地元の土地利用型認定農業者を取込んで、H29年8月1日登記を目標に農事組合法人 林本郷を経営面積15.6haでスタートすることになりました。

当普及部としても経営改善計画の策定、経営の多角化等支援していくこととしています。



発起人代表あいさつ



全員で記念撮影